

調 査 研 究 結 果

種目	道 徳	発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名
観 点	教科書名等 項 目	1 1 6 ・ 日 文	道徳 725、道徳 726	中学道徳あすを生きる 1、道徳ノート
			道徳 825、道徳 826	中学道徳あすを生きる 2、道徳ノート
			道徳 925、道徳 926	中学道徳あすを生きる 3、道徳ノート
取 扱 内 容	地域への興味関心	第 1 学年	岩手県宮古市の郷土芸能を扱い、伝統や文化を受け継ぐことについて考える活動等を取り上げている。	
		第 2 学年	日本の「包む」文化の伝統を扱い、ふろしきで包む体験を行うことで、日本文化の心について考える活動等を取り上げている。	
		第 3 学年	能楽師である父について書かれた教材を扱い、文化や伝統を受け継ぐために何を大切にすべきか考える活動等を取り上げている。	
	命の連続性	第 1 学年	自分にとって、生きるとは、どのようなことかや自分が生きているとは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、どのようにすれば、いじめをなくすことができるかを考える活動を取り上げている。	
		第 2 学年	生命を支え合うとは、どのようなことかや生命の重さや尊さとは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、差別や偏見が生まれる原因は、どのようなところにあるかを考える活動を取り上げている。	
		第 3 学年	尊い命を大切に生きていくためには、何が必要かや命の連続性とは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、自分の気持ちや考えを相手に伝えるためには、どのようにすればよいかを考える活動を取り上げている。	
	自己肯定感・自己有用感の醸成	第 1 学年	相田みつをさんの詩を扱い、自分のよいところを生かして生きるためにどんなことが大切なのか考える活動等を取り上げている。	
		第 2 学年	エッセイ『ブタとシッタカブツダ』の四コマ漫画を取り扱い、お互いのよいところを書き合い、自分を見つめることについて考える活動等を取り上げている。	
		第 3 学年	さまざまなアスリートの言葉を取り扱い、より高い目標を目指すことについて話し合い、まとめる活動等を取り上げている。	
生活習慣 (ゲーム・スマホ)	第 3 学年	スマートフォンの使用時間について扱い、望ましい生活習慣を身に付けることの重要性について考える活動等を取り上げている。		
情報化への対応	第 1 学年	インターネットを扱い、著作権法などのほかに、自分が尊重したいから守ろうと考えるルールには、どのようなものがあるかを話し合う活動を取り上げている。		
	第 2 学年	インターネットを扱い、メール等でのやりとりで、自分の言葉に対する責任をもつためには、どのようなことが大切かを話し合う活動を取り上げている。		
	第 3 学年	スマートフォンを扱い、自分の欲望を抑えるために、どのような努力が必要かを話し合う活動を取り上げている。		
男女平等	第 3 学年	さまざまな性の在り方を扱い、誰もが自分らしく生きることが大切であるということを話し合う活動等を取り上げている。		
いじめ問題への対応	第 1 学年	タレントのさかなクンが著しいじめに対するメッセージを扱い、社会や集団からいじめをなくしていくために行うべきことを考える活動等を取り上げている。		
	第 1 学年	いじめる立場、いじめられる立場、傍観者の立場を想定し、いじめを防ぐためにできることを考える活動等を取り上げている。		

		<p>第2学年 スマホを所持していないことで待ち合わせ場所に行けなかった女子の話を扱い、自分の考えや思いを人に伝えるためには何が大切か考える活動等を取り上げている。</p> <p>第3学年 卒業文集に綴られた級友への後悔の話を扱い、どうすれば人間の醜さを乗り越えて「いじめ」をしない、許さない生き方ができるか考える活動等を取り上げている。</p>
内容の構成・排列、分量等	教材	<p>中心的に扱う教材</p> <p>第1学年 35（読み物35） 第2学年 35（読み物35） 第3学年 35（読み物35）</p>
	材数	<p>補助的に扱う教材</p> <p>第1学年 16（読み物・コラム12、他4） 第2学年 18（読み物・コラム15、他3） 第3学年 16（読み物・コラム13、他3）</p>
	議論を行い自分との関わりで考察できる工夫	各学年に、問題をつかむ活動や考える活動を促す「学習の進め方」を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。
使用上の配慮等	家庭との架け橋となる工夫	各学年の別冊「道徳ノート」に、家庭や地域社会との連携による指導への配慮として「保護者記入欄」を配置し、家庭や地域社会への共通理解を深めることができるようになっている。
	地域の人々との連携や地域の行事との関連を図った学習活動の充実	自分の父の職業を通して伝統や文化を受け継ぐことについて考える活動や、日常生活で用いられている包む行為を取り扱い、日本文化の心について考える活動を取り上げたり、江戸の伝統工芸品や東京スカイツリーにおける耐震構造など、日本の各地域の魅力的な題材を取り上げ、生徒が実感を伴って学習できる教材を活用できるように配慮している。
	自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする工夫	各学年の別冊「道徳ノート」に、教材ごとの発問について自分の考えを書く欄と、今日の学習の振り返りを3段階で自己評価する欄が設定されている。また、別冊の巻末には、印象に残った教材とその理由を記入する「道徳の学習で学んだことを書いてみよう」を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。
	教材ごとのねらいやテーマの掲載状況	生徒が取り組みやすく、また教師が指導や評価をしやすくできるように、主題名や導入発問例などを適切に配置している。
	教材ごとの展開における発問の掲載状況	各教材末尾に教材のねらいに迫る発問と、学習を通して考えたり心に刻んだりするための発問を掲載している。また、別冊の「道徳ノート」にはすべての教材に対応したページがあり、それぞれの教材に適した発問を掲載している。
その他	その他の特色	